

JA 営農情報

№373 令和8年 10月号

祝蕾栽培

祝蕾は、あぶらな科野菜の一種で『子持ち高菜』とも呼ばれ、高菜のようにピリッとした辛い葉と、ほろ苦いつぼみが特徴的な野菜です。茨木市でも特産物として期待している作物で、当JAでも毎年10月に祝蕾の苗を販売しておりますので、畑に空きスペースがある方はぜひ栽培してみてください。



○栽培スケジュール

定植	収穫
10月上旬～下旬	12月上旬～1月中旬
11月上旬～中旬	1月中旬～2月下旬

※寒くなると生育が鈍くなるため、遅植えは避けてください。

祝蕾は1株がとても大きくなるため、うね幅は最低でも120cmを確保し、株間60cmを確実に確保して2条千鳥植えにします。他のあぶらな科野菜であるキャベツやハクサイよりも肥料を多く必要とするため、元肥に化成肥料14-10-13をしっかりと入れましょう。定植後も20日、40日経過後にそれぞれ追肥をし、生育が鈍いようであれば液肥を併用してください。

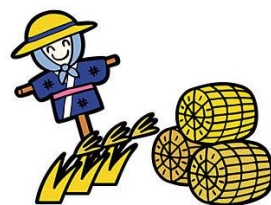
寒さには比較的強いですが、冬場に霜にあたるとアントシアニンが発生して葉が赤くなるため、必要に応じて不織布をかけて対策しましょう。

株を上から覗き込んで、中心に芽の塊ができたなら収穫が近い合図です。大きくなった芽から順次折って収穫するか、株ごと引き抜いてばらしながら収穫します。順調に生育すれば、1株当たり20～30個の芽（蕾）が収穫可能です。また、内側の柔らかい葉や莖の部分も食用として利用できるため、お好みに収穫してください。

※農薬使用時の注意点

祝蕾に農薬を散布する場合は、『野菜類』『非結球あぶらな科葉菜類』『なばな類』のいずれかで登録が取れている必要があるため、散布前に必ず確認してください。

米検査に向けて



■栽培履歴の提出

当ＪＡへ玄米を出荷される場合は、検査当日の１週間前までに栽培履歴を提出していただく必要があります。

栽培履歴は、その玄米が安全であることを証明する大事なものなので、農薬の散布日はもちろん、播種日や田植日、刈取日なども含めて正確にご記入いただくようお願いします。

■重量確認

検査時に必要な玄米重量は、風袋込みで30.3kgです。重量が足りない場合は検査を受けることができませんので、出荷前に必ず確認しましょう。

■水分量

理想の水分量は14.0～14.9%ですが、玄米の状態での水分調整は非常に困難なので、籾摺り前に目標水分までしっかり乾燥させましょう。また、水分量が16.0%を超えてしまうと規格外となり買取ができませんので注意してください。

☆みしま館 出荷会員募集のご案内☆

当ＪＡが運営する農産物直売所『みしま館』の出荷会員を募集しています。直売所への持込が困難な方については、営農経済センターへ持込いただくかご自宅へ集荷にお伺いすることも可能です。

少量でも構いませんので自分で育てた農産物を出荷してみませんか？

詳細についてはみしま館までお問い合わせください。 *TEL：645-7100

＜各種相談日のお知らせ＞

	法律相談 隔月第2木曜日	税務相談 隔月第4金曜日	ローン・資産・介護相談
10月	——	23日	下記店舗にて随時受付しておりますので、お気軽にお問い合わせください。
11月	12日	——	
12月	——	※18日	
【実施場所】ＪＡ茨木市 本店3階 小会議室 【受付時間】午後1時～午後4時 ※定員は3名ですので、事前にご連絡ください。 ※12月の税務相談は第3金曜日に実施します。 総務課 広報ふれあい係 TEL：627-7768			● <u>ローン・資産相談</u> ＪＡ茨木市 各支店 ● <u>介護相談</u> 介護支援センター（TEL：627-7767）



ご利用ください

【テレホンサービス】青果物の市況をお知らせします。 TEL:641-9150

【営農110番】栽培方法等ご相談ください。 TEL:641-9050